

戦史資料科

集刊之師團輸重隊 (沖繩本島)

謝表書 榮三少将 輸重隊長 澤本少佐 杉本秀三氏

一編成裝備簡図

八日正部隊及簡図部隊編成人員兵備彈藥 (沖繩本島戦中)

自己部隊編成

本部 一

駐島中隊 一

自給車中隊 二 (内一隊)

人員

本部 一〇〇

駐島中隊 一四〇

自給車中隊 一八四

計 三二四

兵備彈藥

自給車中隊 一

自給車中隊 二

自給車中隊 三

自給車中隊 六

自給車中隊 三〇

自給車中隊 四一

修理自給車 一七

輸重車 五〇

別記 現地防務三〇〇 較馬一四〇 山原艇 二一

配属之受入者部隊

榮三少将 師團長



司令部編成

支隊中尉以下 二七

輕隊團長 二 小銃 一〇

開係部隊ノ編成

第一中隊 司令部

步兵第六中隊團(司令部) 獨立步兵大隊四

步兵第六中隊團(司令部) 獨立步兵大隊四

第一中隊工兵隊

第一中隊通信隊

第一中隊砲兵隊

第一中隊衛生隊

第一中隊馬車隊

第一中隊經理班

第一中隊夜給班

第一中隊

第一中隊

第一中隊

第一中隊

第一中隊

第一中隊

第一中隊

第一中隊

第一中隊

第一中隊

第一中隊

人員兵器等ノ増減關係

昭和十九年十月十日 初年島約八

昭和二十年三月 初年島約七

昭和二十年六月臨時編入トシテ將接以下約二三〇〇名ヲ編入
レタルニ詳細ハ記憶シテラス

4. 現地住民使役ノ關係

昭和十九年一月沖繩本島上陸以來陣地構築ノ為ニ
方人約四百名乃至五百名ヲ使役シテリタルニ進人員
數明カラス

昭和二十年一月以降現地防衛ノ業務ニ
ヨ山原船二一ヲ使役シ專ラ輸送業務ヲ行ハシメ
現地人ハ概不熱心ニ努力カレシメ島住民ノ性狀ニ依
隨シテ緩慢性トシテ業務言ハレニ能率約十ノ七ニ至リ

二 部隊履歴ノ概要

昭和二十年六月山西省太原ニ於テ編成爾來山西省
東部地區ヲ警備及討伐ニ從事

昭和十九年三月山西省太原ニ於テ同月四月より六月ニ至リ
河南方面ニ從軍中因反リ晉南ヲ要ス

昭和十九年七月河南省襄城ニ發
同年八月開封ニ於テ編成整備

同年八月十六日上海ニ於テ乘船
同年八月二十日 沖繩縣那覇港ニ上陸

同年十一月十日 那覇市ニ位置シテ兵營ヲ築キ
蘇我城宮材ヲ輸送並ニ中野部上陸

同年十一月十日 善光寺附近ニ位置シテ業務ヲ行
同年十二月十日

東京國本ノ下

前同中工月三十一日
至同中工月三十一日
中野部可因二倍進之同地附近陣地構築
及前業務緩行

百四十二年二月三十一日
至同中工月三十一日
依前因二倍進之陣業程務ノ神速

百四十二年三月三十一日
至同中工月三十一日
特四月二十六日以陣ノ全カヲ以テ戦力加入

百四十二年四月三十一日
至同中工月三十一日
首里附近ノ戦力参加

百四十二年五月三十一日
至同中工月三十一日
高尾附近ノ戦力参加

百四十二年六月三十一日
至同中工月三十一日
高尾附近及高尾方面ノ戦力参加

百四十二年七月三十一日
至同中工月三十一日
高尾附近ノ戦力参加

百四十二年八月三十一日
至同中工月三十一日
高尾附近ノ戦力参加

百四十二年九月三十一日
至同中工月三十一日
高尾附近ノ戦力参加

百四十二年十月三十一日
至同中工月三十一日
高尾附近ノ戦力参加

百四十二年十一月三十一日
至同中工月三十一日
高尾附近ノ戦力参加

百四十二年十二月三十一日
至同中工月三十一日
高尾附近ノ戦力参加

百四十二年一月三十一日
至同中工月三十一日
高尾附近ノ戦力参加

百四十二年二月三十一日
至同中工月三十一日
高尾附近ノ戦力参加

、約半部ヲ完了シ掩蓋基他テシ
重要陣地ニ対スル交通壕亦干ヲ構築
シテ

人員用掩壕ニ工事中

強度

自歩軍用洞窟ノ空爆砲撃等ニ対シテ
絶対安全

戦中陣地ノ各個散兵壕ノ程度

人員掩壕ニ一部完成セルニテ大部ニ工事中

(1) 敵攻撃ニ依リ破壊補修状況

自歩軍用洞窟ノ殆ト被害ナシ開口部ノ遠處構築
等ニ用心ノ注意ヲ拂ヒテト土質良好ナリシニ依リ

戦中陣地ニ三月二十四日ヲ引越シ敵砲射撃ヲ
免レシ毎ノ構築ヲ要シ四月未敵ノ陣前ニ近

迫セシ頃ハ砲撃聲ヲ爲全ク畑地ト化シ終始

陣地ノ補修構築ヲ要スルハ状況ニ依リテ

自歩軍洞窟ニ到リ道路ニ當リ三月二十四日以降毎ノ

補修ヲ要シ特ニ四月ノ雨ニ依リテ空爆ノ爲メカ補

修ニ大ナル要カラザルニ至リ

、自歩軍準備ニ関スル要旨ニ命令ノ内容(概要)

師團ヲ要旨ニ命令ノ概要

揚子江ノ西岸ニ於テ平ノ月初旬迄ノ前田、自歩軍用洞窟ヲ

完成スル

以上命令ニ依リテ島嶼防衛ノ特質ニ鑑ミ部隊ノ自歩軍

洞窟ヲ護衛ナシテ其ノ週邊ニ堅固ナル陣地ヲ構築

スルヲ計画シ要旨ニ依リテ前田附近ノ要地ニカ陣地ノ構築

ヲ開始シタルニ関シテ定成スルニ至ラス

之レ島カノ全郭ヲ以テ輸送ニ當テル間係上儘カ
取カモク要メル地方人夫ヲ以テ先ノ時カノ要ルモノ自
車間空ヲ完成シ知レ後輸斗陣地ニ着手シタル為
力不足ヲ招来シ幸フテ各個故兵壕程度ノ陣地
ヲ構築ナルコトヲ得ナリ

4. 軍需品ノ集積地況

軍需品ノ集積ニ関シテノ師長ニ於テ計画セシタル計
基テ其ノ輸送ノ方カ部隊ノ能ク之ヲ担任ナリ

兵器彈藥ヲ程集積地ニ於テ各兵隊ノ隊ノ陣地
ニ其ノ大部分ヲ集積シ貯蓄シ備存シ若干ノ隊備
ヲ集積シタルニ過ク、集積地ニ於テ輸送ノ困難ナリ
部隊個々ノ輸送ノ方カ師長ニ於テ命令セシマリ
タルニ際ニ備集ト相伴シタルモノヲ以テ各部隊ニ

於テ各輸送隊ヲ設テ全輸送ノ担任ニ任
スルニ至ル具申シ行ヒ知レ且チ未漸ヤク之ヲ認
メテ一輸送ヲ完結スル結果若干ノ隊ヲ
存スルニ至リタルヲ聞テ補修ノ為ニ船ト間
ニ合シタル地帯ナリキ

現地自決ノ地況

空地ヲ借ル野系新ノ自作ヲ行ヒ漸次畑地ニ變
作付水田ノ作付等ニ及ビ其ノ基礎漸ヤク定マラレ
ノ際戦力ヲアリナリ

之ヲ耕作地ニ事奉ノ砲臺彈ノ為ニ一時シテ回復
收穫ハ皆電リナリ

御給物送ニ於ケル船ノ損耗地況

杭石輸送ニ山原船ヲ使用シタルニ該機ノ空襲

ゆり、其ノ破損率極ク高ク一月以降ハ航艦
又ノ一割ヲ去リタル状況ナリ、

六、訓練ノ状況

部隊若シテ輸送ノ本務トシテ沖繩本島ニ於ケル状態
ニ殊更ニ輸送輻輳シタル關係トシテ他機業ノ固
係上特ニ訓練ヲ行フノ時間ナカリシニ於テ機業ヲ
投入寸暇ヲ利シテ防備地ニ於ケル訓練ヲ
二、三回實施シタル程度ナリ
但シ之ノ片入隊ノ初年共ハ之ヲ輸送ニ使用スル方針
ナリ防禦戰斗ヲ主トシタル者個別訓練ノ一
方、種々之ニ結果其ノ成果ハ良好ナリキ、

五、戰斗状況

一、参加艦隊ノ戰斗ノ概要

昭和九年十月十日

那覇郡中ノ近クニ射撃戰斗

甲、昭和九年十月十三日

中野郡瀬尾村附近ニ在リ南地附近ノ戰斗ニ参加

乙、昭和九年十月十三日

首里市周辺ノ戰斗ニ参加

丙、昭和九年十月十四日

島尻郡南風原附近ノ戰斗ニ参加

丁、昭和九年十月十五日

島尻郡東風原東方附近ノ戰斗ニ参加

戊、昭和九年十月十六日

島尻郡山城村附近ノ戰斗ニ参加

己、昭和九年十月十七日

同ノ日、同ノ日ニ於テ、通信交通ノ妨害ノ

奇襲等

二、機動部隊ノ戦況

敵機ノ空襲ハ屢々有リシニ艦艇ノ乗組員ニ三月三十一日

那覇港沖ニ出テ艦砲射撃ヲ云々タルヲ始メタル

引續キ戰斗ニ移行セリ

三、敵機ノ戦況

昭和九年十月十日 南西諸島空襲

陸軍

「 昔 」（進二〇〇）

「 二〇年一月 」（進三〇〇）

「 二〇年一月 」（進四〇〇）

「 二〇年一月 」（進五〇〇）

少敵機、事變以後より又前記日次の確信を得る

4. 敵機、損害 不記

5. 落下不着者、降下者、射撃の虚置

誤り、事案あり

6. 誤り、海軍の敵

誤りあり

6. 給養、衛生

給養

作戦長期に亘るに於ては、兵糧糧秣の現存糧下
対比して、最低限度は、給飼を行うに現地物資の取
扱を、努力を以て、或る程度は、得るべしと、一級
給養の要は、必ずしも、難しからず、糧食の不足は、
轉々、其の所、他を、撈し、其の用、係上、給飼、終期、
テ、い、幸、ナリ、現地、人、精、作、ノ、活、ヲ、振、取、ル、而、終、命、ヲ、保
ツ、程、度、ナリ、キ、然、レ、モ、其、情、景、ノ、志、氣、ハ、旺、盛、ニ、シ、テ、最、後
迄、給、養、ノ、志、識、ヲ、保、持、シ、勇、敢、ニ、行、動、ス、

衛生

部隊、附、衛、生、官、僅、カ、ニ、一、人、ト、シ、及、ビ、業、務、ノ、関、係、上、
将、兵、ノ、強、弱、ト、全、島、ニ、亘、リ、分、野、シ、ア、リ、タ、ス、為、衛、生、業、務、
ノ、実、施、ハ、甚、ク、保、健、ニ、大、キ、苦、心、ヲ、拂、ヒ、地、方、醫、師、
利用、等、ニ、依、リ、幸、フ、シ、テ、将、兵、ノ、疾、病、ノ、事、缺、ク、モ、
無、ク、

東京 閣下ノ下

陸軍

艦ヲリキ。新中島砲中ノ艦ヲテニ人係アリキ
然レモ特長ノ志氣ハ極大シ。艦中ノ自己ノ衛生ニ
固シ特ニ注意ヲ喚起シ其ノ實行ヲ要望セル結
果全級ノ發奮者多ク衛生成績ハ良好ナリ
オ知レモ新傷患者トシテ午方迄台ヲ其ノ爲ニ損
耗ヲ招キタルモノナリトアラズ。

六、終戦ニシテ般還迄ノ行動ノ概要

一、艦ヲリキトモ生命ノ危険ヲ抗戦ヲ續クハ六月二十三日
頃より内リニ就テ移リ随時ニ散撃ヲ行フ事トナリ
之モ本國降伏ノ後ヲ破滅シテテニテ過次ニ散
射隊毎ニ毒氣ノシテ散撃解除ヲ要スル者アリナレ
リ

昭和二十年十二月三十日第一次般還者トシテ收港ニ就

テ米船ニ乗船。昭和二十一年一月三日同港出港。同七

日浦賀港ニ上陸ス

時日僅少ノ為南米亞ノ事情ニテハ其ノ地ヲリシモ未ナリニ
アラス

別紙第一

第三中隊砲兵隊職名表

隊長

少佐

杉本秀義

少佐

副官

大尉

鷹生勉

大尉

附

中尉

高見信史

中尉

中尉

柳田穰

中尉

少尉

五十嵐巳孝

少尉

少尉

元坂新

少尉

少尉

宮本直由

少尉

少尉

鈴木仁

少尉

少尉

永野高巳

少尉

少尉

安本牧男

少尉

第一中隊長

中尉

去田邦彦

中尉

附

少尉

木村陽

少尉

井上勉

少尉

信石勉平

少尉

第二中隊長

大尉

中井宗憲

大尉

附

少尉

新井勝彦

少尉

北川昇

少尉

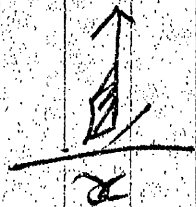
伊坂太郎

少尉

柴橋勘司

少尉

別紙



問答書

632B

1125

642B

経塚

2225

1125

1125

陸

軍

東京 四木ノ下

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp>

2

0574-2